

進捗報告

1 今週やったこと

- コーディネート出来栄え点とお気に入り度の相関分析
- ユーザが着回しプランの期間を指定できる仕様に変更
- ユーザがお気に入り度をどの程度着回しプランに反映させるかを指定できる仕様に変更

2 コーディネート出来栄え点とお気に入り度の相関

先行研究モデルで得たコーディネート出来栄え点と各アイテムのお気に入り度を足し合わせた数の相関係数を求めた。図1にデータの散布図を示す。横軸は先行研究モデルで得たコーディネート出来栄え点、縦軸はコーディネートの総お気に入り度である。相関係数は -0.02 であり、私の服を用いた場合は全く相関関係がないという結果となった。

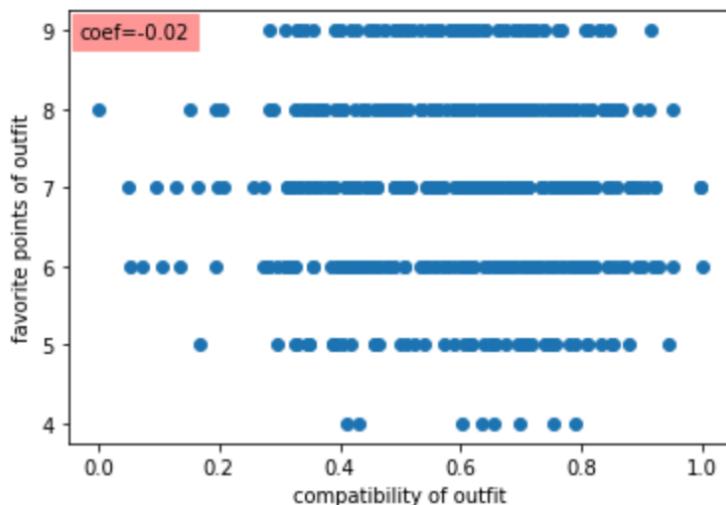


図1: コーディネート出来栄え点とお気に入り度の相関関係

3 お気に入り度をどれだけ着回しプランに反映させるか

お気に入り度に重みを付けてどれだけ着回しプランに反映させるかをユーザが指定できる仕様に変更した。図2に該当する登録フォームの設問を示す。反映度合は以下の通り。

- 1の場合：お気に入り度は一切用いない。
- 2の場合：☆2アイテム使用ごとに +0.15, ☆3アイテム使用ごとに +0.3
- 3の場合：☆2アイテム使用ごとに +0.3, ☆3アイテム使用ごとに +0.6

Degree of Reflection *

お気に入り度を着回しプランにどれだけ反映させたいですか？

1 2 3

あまり反映させない



がんがんお気に入りアイテムを使って
ほしい

図 2: お気に入り度をどれだけ反映させるかを指定する設問

図 3 - 5 に結果を示す。反映度が 1 から 2 に上がると、☆3 アイテムの総数は変わらず、トップスにおいてはよく使われる ☆3 アイテムが別の ☆3 アイテムに変わる程度であった。反映度が 3 に上がると ☆3 アイテムの総数があがるものなの、あまり大きな差異は見られない。この結果を受け、反映度が 3 の場合の重みを 10 倍にするなどさらに大きくしてもあまり変わらない結果となったのでとりあえずこの加点にとどめておく。前章で述べた相関関係からわかるように点数の高いコーディネートに既に満遍なくアイテムが散らばっていることからこのような結果になったと考えられる。よって、相関係数からさらに重みの度合いを調整する必要があるかもしれない。係数がプラスの場合はこのままでも良いが、マイナスの場合は反映度が 2, 3 の場合の重みを大きくする仕様にしたほうが良いかもしれない。ただ実際に様々なユーザからアイテムを登録してもらって、相関がマイナスやプラスになる人がいるか確認できてから考えたい。



図 3: お気に入り度反映度合：1



図 4: お気に入り度反映度合 : 2



図 5: お気に入り度反映度合 : 3

4 今後の方針

すっかり長袖が着れる気候になったので、なだもとさんと他友人に実際にアイテムを登録してもらい、そのアイテム内で自分で着回しを考えて記録してもらったものとシステムで得た着回しプランを比較する。(+自分も)